

道北家族会だより

第30号 道北知的障がい児・者家族会

令和5年12月発行

(本号から「家族会だより」を「道北家族会だより」に名称の修正をしました)

道北知的障がい児・者家族会 勉強会を開催

いま一度、「施設（入所型）の必要性」「日中活動の充実」

そして「地域生活支援拠点等」のことを考える



10月5日（木）、旭川市障害者福祉センター（おびつた）において、令和5年度道北知的障がい児・者家族会の勉強会が感染症防止に十分留意した上で28人の皆様が参加して行われました。

今回は研修会ではなく勉強会として、『いま一度、「施設（入所型）の必要性」「日中活動の充実」そして「地域生活支援拠点等」のことを考える』をテーマに当会相談役の古山施設長、日向施設長の講話と参加者との質疑応答及び意見交換を行いました。（同じく相談役の長谷川施設長の講話も予定されていましたが、急なご都合によりご欠席されました）

勉強会の内容はそれぞれ中身が濃く有意義で時間が足りないほどでしたが、とりわけ「施設（入所型）の必要性」では、国の基本指針により北海道が第3期北海道障がい者基本計画・第7期北海道障がい福祉計画を策定するにあたり、入所者の地域移行等により令和8年度末までに令和4年度末比で入所者数を5%以上削減するのを「成果目標」としていることには驚きと憤りの声が上がりました。なぜなら、今までにも希望して地域へ出ていける利用者はグループホームなどに移り、いま入所施設に残っている利用者は重度・高齢のために「地域移行」が難しい人達が圧倒的に多いことを考慮しない机上の理論に基づく行政からの「圧力」だからです。

勉強会では、北海道の入所者数削減「成果目標」に反対意見を提出するとともに、知的障がい者の医療費無料化に向けて引き続き要望活動が続けることになりました。実際に、この道北家族会の意見・要望を盛り込んだ形で、北海道に対し道家連としてのパブリックコメントを 2024 年 1 月に提出します。

他にも、勉強会では「虐待防止」に関して北海道知的障がい福祉協会のオンブズマン活動など取り組みの概略説明がありました。

なお、古山施設長、日向施設長の相談役お二人からは、道北家族会の原点である障害者自立支援法施行当時に道家連や全施連とともに行った活動等を振り返ってのお話があり、道北家族会が道家連との連携はもちろん全施連とも連携して全国の家族と一緒に国や厚労省に強く働き掛けていくことが施設を守っていくことになるので、よろしくお願いしますとのお話がありました。

勉強会の内容(項目) 古山施設長、日向施設長の講話

※詳しい内容をお読みになりたい方は、当日配布資料として各施設事務局に送ってありますので、ファイル転送または印刷郵送を希望される旨を自施設の事務局へお申し出ください。

＝障がい者支援施設（施設入所支援）の必要性＝

- ・施設入所支援の目的
- ・支援の対象となる方
- ・支援の内容
- ・グループホームとの違いは
- ・入所施設の実態
- ・支援のギアチェンジ（シフトダウン）
- ・施設入所支援事業（障がい者支援施設）の実態調査（資料説明）

＝北海道知的障がい福祉協会等における権利擁護活動＝

- ・人権侵害ゼロへの誓い
- ・オンブズマン活動
- ・権利擁護指導者養成講座
- ・強度行動障がい支援者養成講座
- ・オンブズマン訪問記録（上川更生ハイム）

＝「日中活動の充実」について＝

- ・日中活動の種類のうち生活介護と就労継続支援 B 型について説明

＝地域生活支援拠点等＝

- ・入所施設からの地域移行
- ・旭川市における地域生活支援拠点等について

＝道北家族会設立当時を振り返る＝

- ・障害者自立支援法の施行、設立当時の道新記事
- ・設立当時の全道全国の情勢

＝万が一の時に備えて…（親亡き後）＝

- ・生命保険信託の活用例

家族会 施設の ご紹介

当会に加盟している各家族会保護者会と各施設を順次ご紹介します。

今回は「つくも園 つくも会」です。

【家族会等の名称、代表者氏名、会員数】

社会福祉法人しべつ福祉会 つくも会

会長 伊藤 美鈴 氏 会員数 85 名

【施設の名称・所在地・利用定員】

障がい者支援施設 「つくも園」

士別市東山町 3440 番地 26

施設入所支援 40 名

生活介護 50 名

短期入所 3 名

ワークセンター きずな

生活介護 25 名

就労継続支援 B 型 10 名

体験ハウス西棟

共同生活援助 40 名



【施設の特徴】

当会がある士別市は、北海道のほぼ中央上部、天塩川と剣淵川の合流点付近に位置しているため、アイヌ語の「シュベツ」（川の岸边、大いなる川）から地名がつけました。

施設は平成 3 年に開設され 30 年を経過しました。日々、ご利用者さん一人ひとりにしっかり寄り添い、その人らしい生き方を支援していきたいと考えております。

ホームページ：<http://www.swsf.jp/>

【施設の産品・直営店等】

ワークセンターきずなでは、食事処「結」を営んでおります。

令和 3 年 5 月にリニューアルオープンし、おすすめは、「うどん」と「カレー」です。

士別に来た際は、是非ご来店ください。

食事処「結」Tel 0165-29-6355 営業時間 11:00～19:30（定休日：水曜日）

【家族会等の主な行事と開催時期】

つくも会総会（4 月）

※コロナ禍以前

野外バーベキュー（7 月） 青空祭（9 月） スポーツ交流会（11 月）

【家族会等、施設の自己紹介コメント】

つくも会の家族会は、ご利用者さんの安心・安全な生活、充実した生き方を支援することを目的に活動しております。主に施設行事の共催、支援、ご利用者さんの誕生日助成、施設整備、備蓄品等の助成を行っております。

